

「日々の理科」(第1880号) 2019,-9,-1

「天使のはしご(4)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

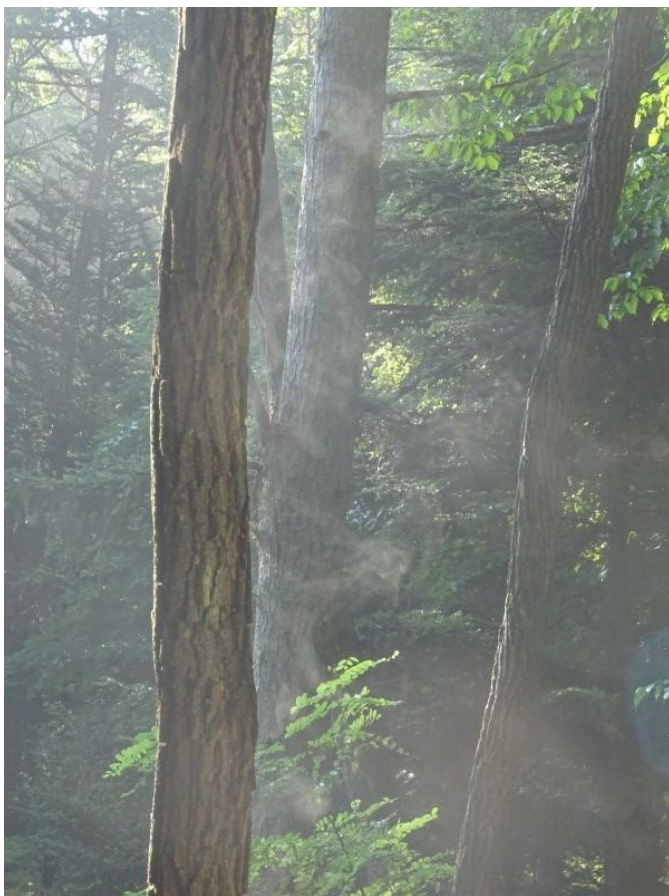
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

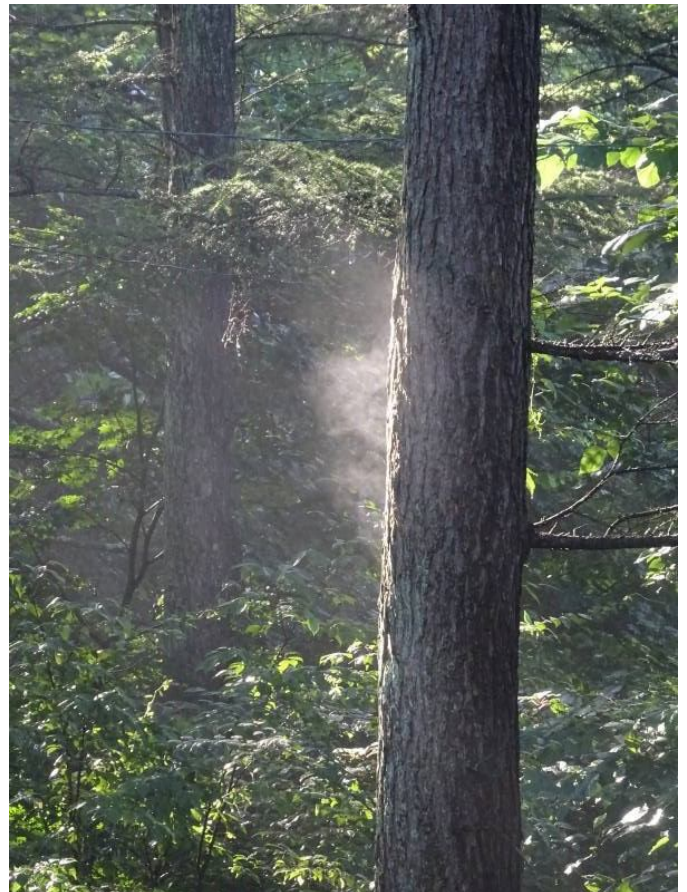
「天使のはしご」の発生源である「朝霧」は、主に地面から供給されていた。



観察して回っているうち、森の中のほうが霧が濃く、光芒もはっきり見えることに気づいた。



どうも、地面がだけではなく、樹木そのものからも霧が発生している気配に気づいた。



これはその決定的な写真。カラマツの幹から直接霧が発生している。一瞬、木が燃えているのかと思った。



ミズナラの幹から直接霧が出ている。森の中の霧も光芒も濃く見える原因は、木々そのものだったのだ。